

【NEWS RELEASE】

2026年7月9日

SMBC日興証券株式会社

デジタルアセット次世代執行基盤の共同検証に関する基本合意書締結のお知らせ
～伝統金融市場、オンチェーン市場およびオフチェーン市場を横断する取引最適化の共同検証を開始～

機関投資家向け 次世代執行基盤の共同検証



SMBC日興証券株式会社(東京都千代田区、取締役社長 CEO(代表取締役):吉岡 秀二、以下、「当社」)は、ANDLAW FZCO(アラブ首長国連邦ドバイ首長国、CEO:加藤 豪輝)、日鉄ソリューションズ株式会社(東京都港区、代表取締役社長:玉置 和彦)、株式会社 DeFimans(所在地:東京都港区、代表取締役:小野 暢思・佐藤 太思)、Perplexity AI, Inc.(アメリカ合衆国カリフォルニア州、CEO:Aravind Srinivas)と共同で、伝統金融市場、オンチェーンおよびオフチェーン^{*1}市場における横断的取引最適化に向けた複数企業連携による検証(以下、「本 PoC」)を実施するための基本合意書を締結したことをお知らせいたします。

1. 背景

近年、デジタルアセット市場では、暗号資産以外にも多様な商品・市場が急速に拡大しています。一方で、それぞれの市場は流動性、価格形成、接続方式、執行環境が分断されている状況であり、複数市場を横断して効率的に取引機会を評価・実行するための基盤は今後整備が進められることが期待されています。

また、暗号資産 ETF、トークン化有価証券、ステーブルコイン等、伝統金融市場とデジタルアセット市場の接続がさらに進むことが見込まれ、オンチェーン・オフチェーンを横断した次世代の取引執行インフラの重要性が高まっています。

そこで、本 PoC では複数市場の価格情報の集約、現物・デリバティブを横断した戦略検証を通じて、機関投資家および金融機関向けの実用的な取引執行インフラの構築に向けた共同検証を進めてまいります。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

2. 本取組の目的

本 PoC は、以下の取組を通じて将来の潜在的なビジネス機会を共同で模索することを目的としています。なお、本 PoC 終了後も市場への導入を含めて連携を継続していく旨を議論しています。

- ・ 最適な取引執行価格および取引ルートに関連するデータの収集と構造化
- ・ 複数のブロックチェーンや市場を横断したスムーズな取引の実行可否を検証
- ・ ビットコインやイーサリアムの ETF の価格形成および価格最適化を検証
- ・ 上述 ETF に付随するデリバティブ取引の裁定機会の模索および取引執行の最適化
- ・ トークン化資産の製造業等への展開可能性の検討
- ・ 収益性、運用可能性、市場特性に関する定量的な評価

3. 本 PoC 参加企業の役割

SMBC日興証券株式会社	取引の執行・実装に関する専門知識の共有、ユーザー体験・データ出力形式・運用ワークフローの改善提案、有効性と潜在的な市場への影響評価
ANDLAW FZCO	取引ルートの設計、取引執行インフラおよび技術的専門知識の提供、イベントドリブン ^{※2} 等の取引シナリオの設計と定量データ分析、これらに伴う暗号資産関連の技術的事項の対応・調整。 なお、デジタルアセットおよびアルゴリズム取引領域において「Futaba Lab」のブランド名で事業を展開している
日鉄ソリューションズ株式会社	取引プラットフォームと関連アルゴリズムの提供、高頻度取引およびイベントドリブン取引システムにおける専門知識の共有
株式会社 DeFimans	PoC の全体設計、調整、進行、暗号資産取引に関する専門知識の共有、AI 技術活用に関するコンサルティング
Perplexity AI, Inc.	LLM アグリゲーション機能 ^{※3} をはじめとする高度な AI 活用の技術サポート。 なお、日本における規制・制度への適合性を踏まえ、サービス展開に向けた AI 機能の最適化を継続的に実施する

4. 今後の展望

本 PoC では既存暗号資産はもちろんのこと、ステーブルコイン、コモディティを中心とした RWA^{※4}およびビットコインやイーサリアムの ETF を参照資産としたデリバティブ取引での裁定機会を可視化します。将来的にはレポ取引^{※5}等のコスト軽減、市場横断に伴う取引価格の最適化を通じて多国籍企業への導入を目指してまいります。

当社は、2026年2月にDeFiテクノロジー部を立ち上げました。今後のRWA市場の急速な拡大を見据え、引き続き国内外のパートナーと連携しながら最先端のテクノロジーを駆使した暗号資産関連サービスの開発を進めてまいります。

- ※1 ブロックチェーン上に記録せずブロックチェーン外のシステムや参加者間で取引内容を記録・処理するデータや取引
- ※2 個別企業にとって重要な出来事(コーポレートイベント)を利用して収益を得る投資戦略
- ※3 生成 AI 機能の一つ。公開情報の収集機能ではなく、複数の大規模言語モデル(LLM)を用途やタスクに応じて組み合わせるほか、最適なモデルを選択・切り替えながら活用する機能
- ※4 Real World Assets の略。物理的な資産の所有権やその他権利をデジタルトークンに変換した資産
- ※5 有価証券を一時的に売却し、あらかじめ決めた期日に同じ有価証券を買い戻すことを約束して行う取引

以上